

MIC Worship Service – 2025.01.05 New Year Message
Title: “*Rooted in Christ: A New Year’s Foundation*”
Text: Colossians 2:6~7 (NIV)

MIC 礼拝 - 2025.01.05 新年メッセージ

「キリストに根ざす : 新年の基盤」

聖書箇所 : コロサイ人への手紙 2章6~7節 (新改訳)

“So then, just as you received Christ Jesus as Lord, continue to live your lives in him, **rooted and built up in him**, strengthened in the faith as you were taught, and overflowing with thankfulness.

6 あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。7 キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。

Introduction

The beginning of a new year often inspires us to set goals, make resolutions, and reflect on what truly matters. As we step into 2025, the Word of God offers us a powerful reminder of where our focus should be. Paul’s exhortation in Colossians 2:6~7 calls us to continue our journey in Christ, firmly rooted in Him, and growing in faith and gratitude. Let us explore how this passage can guide our lives in the year ahead.

新しい年の始まりには、私たちは、しばしば目標を定めたり、ある決意を固めたりします。新しい年の始まりは、私たちに、『本当に大切なものは何であるか』について考えるきっかけを与えてくれます。今日、2025年を迎えるにあたり、神の御言葉は私たちがどこに焦点を合わせるべきなのかを強く思い出させてくれることを知りましょう。コロサイ人への手紙2章6-7節に書かれているパウロの勧めは、キリストにしっかりと根ざしており、その勧めは、信仰と感謝をもって成長しながらキリストと共に歩み続けるようにと私たちに呼びかけてくれています。コロサイ人への手紙に書かれているこの聖句が、これからの新しい一年の中で、私たちの人生をどのように導いてくれるのかを探ってみましょう。

I. Receive Christ Jesus as Lord

I. キリスト・イエスを主と認める

Paul begins by reminding the Colossians of their initial commitment to Christ. *The Christian journey starts with acknowledging Jesus as Lord.* This is more than a one-time decision; *it’s a daily surrender.*

パウロの勧めは、まず、コロサイの信徒たちに、キリストへの最初の約束を思い出させることから始まっています。クリスチャンとしての旅は、イエスを主と認める

ことから始まるのだと言っています。これは一度かぎりの決意というのではなく、日々、主に委ねることなのです。

Romans 10:9~10 - *“If you declare with your mouth, “Jesus is Lord,” and **believe in your heart** that God raised him from the dead, you will be saved. ¹⁰For it is with your heart that you believe and are justified, and it is with your mouth that you profess your faith and are saved.*

ローマ人への手紙 10章9-10

9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、**あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じる**なら、あなたは救われるからです。
10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

John 1:12 - *Yet to all who did **receive him**, to those who **believed in his name**, he gave the right to become children of God—*

ヨハネの福音書 1章12節

12 しかし、**この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々**には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

ILLUSTRATION: Think of a marriage. The wedding day is a defining moment, but the relationship must grow daily. In the same way, receiving Christ as Lord is the start of an ongoing relationship.

ではここで、結婚について考えてみましょう。結婚の日が大切な瞬間であることはまちがいありませんが、妻と夫という関係は日々成長していかなければなりません。それと同じように、キリストを主として受け入れるということは、ずっと続く関係が始まるということなのです。

APPLICATION: As we enter the new year, ask yourself: ***Have I fully surrendered every area of my life to Christ?*** Reaffirm your commitment to follow Him, no matter what lies ahead.

新年を迎えるにあたり、次のように自問してみましょう。『**私は自分の人生のあらゆる面をキリストに完全に委ねているだろうか?**』

この先何があろうとも、キリストに従うという決意を改めてみなさんに確認してもらいたいと思います。

II. Continue to Live in Him

II. 神にあって歩み続ける

Paul’s call to ***“continue to live your lives in him [Christ]”*** (v.6) emphasizes perseverance. The Christian walk is not static; it’s an ongoing journey of faith and obedience.

「**彼（キリスト）にあって歩みなさい。**」（6節）というパウロの呼びかけは、忍耐することを強調しています。すなわち、クリスチャンとして歩むということは、

静かにしている状態を指すのではなく、信仰を持ち従順になる旅をずっと続ける（継続する）ことを意味します。

John 15:4~5 - *“**Remain in me [Christ]**, as I also **remain in you**. No branch can bear fruit by itself; it must **remain in the vine**. Neither can you bear fruit unless you **remain in me**.^s “I am the vine; you are the branches. If you **remain in me** and I in you, you will bear much fruit; apart from me you can do nothing.*

ヨハネの福音書 15章4-5節

4 わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。

5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

Galatians 2:20 - *I have been crucified with Christ and I no longer live, but **Christ lives in me**. The life I now live in the body, **I live by faith** in the Son of God, who loved me and gave himself for me.*

ガラテヤ人への手紙 2章20節

20 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

ILLUSTRATION: Imagine a tree planted by streams of water, as described in **Psalm 1:3**. Its life and growth depend on its connection to the source. Similarly, our spiritual vitality depends on staying connected to Christ.

詩篇 1 篇 3 節に記されているように、水路のそばに植えられた木を想像してみてください。木々の生命と成長は、水源とのつながりによって決まります。同様に、私たちの霊的な活力も、キリストとつながっているかどうかによって決まるのです。

“That person is like a tree planted by streams of water, which yields its fruit in season and whose leaf does not wither—whatever they do prospers.”

「その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。」

APPLICATION: Make it a priority in 2025 to deepen your daily walk with Christ through prayer, Scripture reading, and fellowship with other believers.

2025年は、祈り、聖書を読み、他の信者たちとの交わりを通して、日々キリストとの歩みを深めることを優先しましょう。

III. Be Rooted and Built Up in Him

III. 主の中に根ざし、建てられる

Paul uses the metaphor of a tree and a building to illustrate spiritual growth. Being rooted speaks of depth, while being built up speaks of progress.

パウロは、木と建物の比喩を用いて、霊的成長について私たちに説明をしてくれています。『根ざす』ことは『深さ』を、『建てられる』ことは『進歩』を意味します。

Jeremiah 17:7~8 - “*But blessed is the one who trusts in the Lord, whose confidence is in him. ⁸They will be **like a tree planted by the water** that sends out its roots by the stream. It does not fear when heat comes; its leaves are always green. It has no worries in a year of drought and never fails to bear fruit.*”

エレミヤ書 17章7-8節

7 主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。8 その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実をみのらせる。

Ephesians 2:19~22 - “*Consequently, you are no longer foreigners and strangers, but fellow citizens with God’s people and also members of his household, ²⁰**built on the foundation of the apostles and prophets, with Christ Jesus himself as the chief cornerstone.** ²¹In him the whole building is joined together and rises to become a holy temple in the Lord. ²²And in him **you too are being built together to become a dwelling in which God lives by his Spirit.***”

エペソ人への手紙 2章19-22節

19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。20 あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその基石です。21 この方において、組み合わされた建物の全体が成長し、主にある聖なる宮となるのであり、22 このキリストにおいて、あなたがたもともに建てられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

ILLUSTRATION: Think of the Tower of Pisa. Its famous lean reminds us that a weak foundation leads to instability. Similarly, we must be firmly rooted in Christ to withstand life’s storms.

みなさんここで、ピサの斜塔を思い浮かべてみてください。その有名な塔の傾きは、土台がしっかりしていないと不安定になりますよね。それと同様に、人生の嵐に耐えるためには、私たちはキリストにしっかりと根ざしていなければならないのです。

APPLICATION: Examine your spiritual foundation. Are you firmly rooted in Christ’s Word and His promises? Commit to studying the Bible more intentionally this year.

あなたの霊的な土台（基盤）はどうでしょうか？調べてみてください。あなたは、キリストの御言葉とキリストの約束にしっかりと根ざしていますか？今年は、もっと意図的に（意識して）聖書を学ぶことを約束しようではありませんか。

IV. Strengthened in the Faith as You Were Taught

IV. 教えられたとおりに信仰を強める

Spiritual strength comes from knowing and applying God's Word. Paul encourages believers to grow in their understanding of the gospel.

霊的な強さは、神の御言葉を知り、それを実践することから生まれます。パウロは、福音を理解して成長するようにと信者を励ましています。

Hebrews 5:12~14 - ¹²In fact, though by this time you ought to be teachers, you need someone to teach you the elementary truths of God's word all over again. You need milk, not solid food! ¹³Anyone who lives on milk, being still an infant, is not acquainted with the teaching about righteousness. ¹⁴But **solid food is for the mature, who by constant use have trained themselves to distinguish good from evil.**

ヘブル人への手紙 5章12-14節

12 あなたがたは年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神のことばの初歩をもう一度だれかに教えてもらう必要があるのです。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要とするようになっています。

13 まだ乳ばかり飲んでいような者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。14 しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。

2 Timothy 3:16~17 - ¹⁶All Scripture is God-breathed and is useful for teaching, rebuking, correcting and training in righteousness, ¹⁷so that the servant of God¹⁷ may be **thoroughly equipped for every good work.**

テモテへの手紙 第二 3章16-17節

16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。17 それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

ILLUSTRATION: Athletes train consistently to build strength. In the same way, spiritual disciplines strengthen our faith over time.

スポーツ選手は毎日コンスタントにトレーニングをして力をつけます。それと同じように、霊的な訓練は、時間をかけて私たちの信仰を強めてくれるのです。

APPLICATION: Join a Bible study group or find a mentor to help you grow in your understanding of Scripture in 2025.

2025年は、聖書を学ぶグループに参加したり、聖句の理解を深めるためのメンター（助言者や相談者）を見つけたりしましょう。

V. Overflowing with Thankfulness

V. あふれるばかりに感謝する

A heart rooted in Christ is naturally grateful. Gratitude reflects our recognition of God's grace and provision.

キリストに根ざした心を持つと、自然と感謝するようになります。感謝の表れは、神の恵みと備えに対する私たちの思いを反映してくれます。

1 Thessalonians 5:16~18 - *Rejoice always, pray continually, give thanks in all circumstances; for this is God's will for you in Christ Jesus.*

テサロニケ人への手紙 第一 5章16-18節

16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

Philippians 4:6~7 - *Do not be anxious about anything, but in every situation, by prayer and petition, with thanksgiving, present your requests to God. And the peace of God, which transcends all understanding, will guard your hearts and your minds in Christ Jesus.*

ピリピ人への手紙 4章6-7節

6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ILLUSTRATION: Like a cup overflowing with water, our lives should overflow with gratitude, spilling out to bless others.

コップに水があふれるように、私たちの人生が感謝であふれると、他の人々を祝福するために感謝がこぼれ出すようになります。

APPLICATION: Start a gratitude journal this year. Record daily blessings and answered prayers as a reminder of God's faithfulness.

2025年は、感謝日記を始めましょう。日々の祝福や、神に叶えてもらった（答えてもらった）祈りを記録し、神の誠実さを思い起こしましょう。

Conclusion

As we begin 2025, let Colossians 2:6~7 be our roadmap. Receive Christ as Lord, continue to live in Him, be rooted and built up, strengthen your faith, and overflow with gratitude. Let us commit to making this year one of spiritual growth and deepening our relationship with Christ.

2025年を始めるにあたり、コロサイ人への手紙2章6~7節を私たちの道しるべとしましょう。キリストを主として受け入れ、キリストにあって生き続け、根を下ろして建て上げられ、信仰を強め、感謝に溢れましょう。キリストとの関係を深め、靈的に成長する2025年にしましょう。

Challenge: Take a moment today to reflect on how you will intentionally grow in each of these areas in the coming year. Share your commitment with a trusted friend or family member for accountability.

課題：今年、あなたがこれらの各分野において、どのように成長していけるのかを、今日じっくり考えてみてください。そして、自分の言ったことに責任を持つために（結果を出すために）、信頼できる友人や家族とあなたの決意を分かち合いましょ。

Closing Prayer: *“Lord, thank You for the gift of a new year. Help us to stay rooted in Christ, growing in faith and overflowing with gratitude. May our lives reflect Your love and grace. In Jesus’ name, amen.”*

締めくくりの祈り：「主よ、新しい年という賜物に感謝します。私たちがキリストに根ざし、信仰を深め、感謝であふれることができるように助けてください。私たちの人生にあなたの愛と恵みが反映されますように。イエスの御名によって、アーメン。」